

※本リリースは 2022 年 4 月 27 日に フランス リュエイク・マルメゾンにて発表されたプレスリリースの抄訳です。

## シュナイダーエレクトリック、2022 年第 1 四半期におけるサステナビリティインパクトの進捗を発表

エネルギー・マネジメントおよびオートメーションにおけるデジタルトランスフォーメーションのリーダーであるシュナイダーエレクトリックは、5 カ年で取り組む 2021-2025 年のサステナビリティプログラムに於いて 2 年目となる 2022 年第 1 四半期の業績を報告し、中期的な ESG コミットメントに向けて前進することに引き続き注力していることを確認しました。

シュナイダー・サステナビリティ・インパクト (SSI) のダッシュボードでは、気候 (Climate)、資源 (Resource)、信頼 (Trust)、機会均等 (Equal)、世代 (Generation)、地域社会 (Local) に関連する具体的な目標達成の進捗を、四半期ごとに追跡・開示しています。2022 年第 1 四半期の結果は、10 点満点中 4.70 点という年度末のスコア目標に向けて順調に推移しており、集計結果は 4.00 点となりました。

前任の Olivier Blum ([現：エネルギー・マネジメント エグゼクティブバイスプレジデント](#)) から、今年 4 月に[最高戦略・サステナビリティ責任者 \(Chief Strategy and Sustainability Officer\)](#) を引き継いで就任した Gwenaëlle Avice-Huet は次のように述べています。「年初からの進展と、複雑で困難な社会や市場の動きにもかかわらずサステナビリティへの注力を維持できたという結果に満足しています。私たちの目的から目をそらすことなく、常に経験と専門知識を駆使して、世界と地域にポジティブなインパクトを与える企業の CSSO として、自信と熱意をもって職務に邁進します。」

### 第 1 四半期におけるサステナビリティハイライト

- シュナイダーエレクトリックの EcoStruxure™ソリューションは、顧客やサプライヤーの脱炭素化を大きく進展させ、2018 年以來の累積で、CO2 排出量を 3 億 5800 万トン削減することに貢献しました。また、[Plastic Omnium](#) および [NSG Group](#) との気候戦略パートナーシップを拡大しました。
- シュナイダーエレクトリックは Solar Impulse Foundation とのパートナーシップにより、フランス グルノーブルのフラッグシップ拠点である [Intencity](#) ビルに於いて「[1000+ Solutions for Cities](#)」と題した 3 カ月間の展示会を開催し、何百人もの来場者が持続可能な都市環境に対する具体的かつ利用可能なソリューションについて発見し学ぶ環境を提供しました。
- シュナイダーエレクトリックでは現在、インド、中国、ヨーロッパのすべての配送センターでリサイクル段ボールのみを使用しています。また、鉄鋼業界主導型のイニシアチブ [ResponsibleSteel](#) に参加しており、[製品に含まれるスチールが責任ある調達と生産に由来することを保証](#)し、環境への影響を軽減することでグリーン材料を進展させています。
- シュナイダーエレクトリックは、今年中にディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進するプログラムを展開するためのパイロットプロジェクトを、100 以上の戦略的サプライヤーと開始しました。
- インドと南米に於いて、エネルギー・マネジメントの加速と、より多くの人々へのトレーニング提供につながる新たなパートナーシップを締結しました。
- シュナイダーエレクトリックは、自社財団の支援と何千人もの従業員の個人的貢献によって、危機の影響を受けたウクライナの同僚とその家族を直接支援するために 200 万ユーロを超える寄付金を集めました。
- シュナイダーエレクトリックは、ウクライナに於ける不可欠なエネルギー供給を回復するために [400 万ユーロ相当の機器を寄付](#)し、シュナイダーエレクトリック財団は地元の NGO と協力して地域社会を支援し続けています。

更に詳しい情報は、シュナイダーのサステナビリティ・インパクト・プログラムの [2022 年第 1 四半期報告書](#)（進捗ダッシュボードを含む）でご覧いただけます。



### 最新のサステナビリティ関連の受賞や認定

- [シュナイダーエレクトリックがCorporate Knightsの「グローバル100」に11年連続で、「カーボンクリーン200」に7年連続で選出](#)
- [シュナイダーエレクトリックはEcoVadis Sustainable Procurement Leadership Awards 2022でBest Value Chain Engagementを獲得](#)
- [The Ethisphere® Instituteはシュナイダーエレクトリックを11年連続で「世界で最も倫理的な企業2022」の1社に選定](#)
- [Bloombergの「男女平等指数」に5年連続で選出](#)
- [シュナイダーエレクトリックがEquileapの男女平等グローバルランキング2022に掲載](#)
- [シュナイダーエレクトリックがフォーチュン誌の「2022年世界で最も賞賛される企業」に5年連続でランクイン](#)

[シュナイダーエレクトリックの 2022 年第 1 四半期の収益](#)と、[気候](#)、[資源](#)、[人々](#)、[信頼](#)、[社会的影響](#)に関する専用のサステナビリティレポートは、各リンクよりオンラインでご覧いただけます。

シュナイダーエレクトリックの ESG（環境・社会・ガバナンス）パフォーマンスについてはこちら

- [2021 年ユニバーサル登録文書](#)
- [よくあるご質問（FAQ）](#)
- [サステナビリティ・ディスクロージャー・ダッシュボード](#)

### Schneider Electricについて

シュナイダーエレクトリックは、あらゆる人がエネルギーや資源を最大限活用することを可能にし、世界の進歩と持続可能性を同時に実現することを目指しています。私たちはこれを「Life Is On」と表現しています。

私たちの使命は、**持続可能性と効率性を実現するためのデジタルパートナーになること**です。

世界をリードするプロセス技術やエネルギー技術と、エンドポイントとクラウドをつなぐ製品、制御機器、ソフトウェアやサービスとを、ライフサイクル全体を通して統合し、その統合された管理を住宅、ビル、データセンター、インフラストラクチャ、各種産業に展開することでデジタルトランスフォーメーションを推進します。

私たちは、**最もローカルなグローバル企業**です。社会にとって意義深い目的を持ち、多様な意見を取り入れ自ら行動するという価値観を持って、オープンスタンダードとパートナーシップエコシステムの拡大に尽力します。

[www.se.com/jp](http://www.se.com/jp)

Discover Life Is On

Follow Us:      

[Schneider Electric Insights](#)で、サステナビリティ、Electricity 4.0、次世代オートメーションを形成する最新の見解をご確認ください。

Hashtags: #Sustainability, #ESG, #Impactcompany